

日華化学の“いま”をダイレクトに伝える

GLOBE

グローブ

◆ 事業概況のご報告

- 株主の皆様へ
- トップインタビュー
- 化学品事業/化粧品事業

◆ 中期経営計画

- 中長期グループ成長シナリオ
～資本コストや株価を意識した経営の
実現に向けた対応について～
- 業績/配当予想、施策

◆ TOPICS

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2024年12月期(第111期)第2四半期(中間期)決算概況についてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間における世界経済は、不安定な国際情勢の中で、資源価格の高騰や世界的な金融引き締め政策が継続し、先行きが不透明な状況となっております。また、わが国経済は、株価上昇やインバウンド消費の持ち直しなど景気は緩やかな回復基調となっておりますが、急激な円安の進行による物価の上昇や、長期金利の上昇が進む中で、不安定な経営環境となっております。

このような中、当社グループは企業パーパス「Activate Your Life」(ステークホルダーとともに、無限に広がる界面力ガクのチカラで様々な社会課題を解決し、より豊かな暮らしや輝く未来に貢献すること)に基づき、中長期成長ビジョンとして『世界中のお客様から最も信頼されるイノベーション・カンパニー』を掲げております。当パーパス、ビジョンのもと3か年中期経営計画『INNOVATION25』(2023-2025)を策定し、現在、2ページに記載の5大戦略の推進に取り組んでいます。



代表取締役社長
江守康昌



◀ 決算報告2024年12月期第2四半期(中間期)
🔗 (動画4:23) 視聴

また、このたび(7月31日)、「中長期グループ成長シナリオ～資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について～」を公表いたしました。その主な内容として、5ページに、当社グループが中長期的に目指す姿と、具体的な取り組みについてご紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

今後も激変していく経営環境をビジネスチャンスへと昇華し、社会からますます必要とされる価値を提供する事業に注力し永続的成長を目指してまいります。

中期経営計画

弊社は、世界中のお客様から最も信頼されるイノベーション・カンパニーを目指すべく、中期経営計画「INNOVATION25」を公表しており、
2025年12月期の売上高は570億円、
営業利益40億円、ROS7%を計画しています。
2023年から2025年を新しい成長スパイラルを固める3か年と位置付けており、「事業構造の転換」「収益性改善」「成長分野への積極投資」を推進しています。

INNOVATION25「5大戦略」

戦略1	事業構造の大転換	EHD※事業へのシフト
戦略2	メリハリのある投資	注力事業への安定投資、投下資本収益性向上
戦略3	生産性改革	デジタルトランスフォーメーションの積極推進
戦略4	サステナブル経営の推進	持続可能な社会への貢献
戦略5	大家族主義の進化	社員エンゲージメント向上とダイバーシティの推進

※「Environment/環境」「Health/健康・衛生」「Digital/先端材料」

企業パーパス



▲「Activate Your Life」
🔗 紹介ページ

トピックインタビュー

2024年12月期第2四半期(中間期)の決算を発表されましたが、どのような内容だったのでしょうか？
また、主な取り組みや施策の進捗状況をご説明ください

上期は増収・大幅増益で、売上高と経常利益は半期ベースで過去最高を達成しました。

化学品事業は、EHD関連売上比率の増加で利益率が向上し、また欧米アパレル在庫調整の長期化による需要低迷から回復傾向にあり、中国の回復も顕著で、円安による伸長も手伝って、売上高、利益ともに半期ベースで過去最高を達成しました。

一方で化粧品事業は、デミコリアが好調で、デミ注力商品の販売が増加したものの、大口ODMやサロン既存品が減少し、また販売関連費の増加や在庫変動の影響もあり、減収・減益でした。

主な取り組みとしまして、このたび、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」を公表しました。主な内容は5ページに記載しています。なお、詳しくは当社ホームページをご覧ください。

化学品事業は、EHDシフトを推進中で、撥水剤、水系ウレタン、環境対応工程薬剤やリネンサプライ用薬剤の販売が堅調で、新規販売では自動車向け合皮

用トップコート剤をグローバルに展開しています。

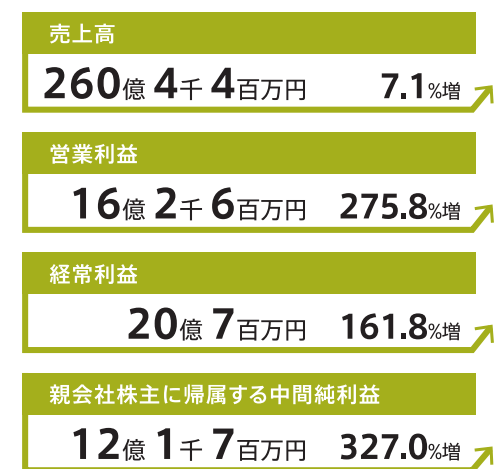
また、戦略的グローバル調達の推進におきましては、海外子会社の情報網を活用し、競争力のある油脂化学品・無機化学品の調達を推進しているところ です。

化粧品事業におきましては、昨年発売したスカルプケアの「DEMI DO(デミドウ)」、ヘアカラーの「トイロクシオン」の導入サロン様でのシェアアップに取り組んでいます。

また、デジタルプロモーションの継続につきましては、髪や頭皮の美容情報サイトである「デミ ラボ」を5月に立ち上げ、デミ取り扱いサロン様へ足を運んでいただくきっかけづくりをサポートしています。

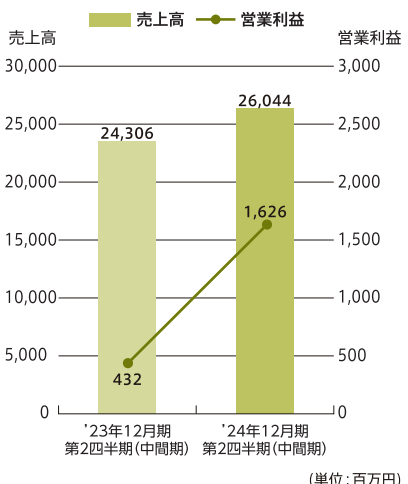
2024年12月期の業績予想につきまして、上期において、特に化学品事業の利益が期初予想を上回り、下期において化粧品事業も含めて堅調に推移する見通しであることから、このたび利益と配当を上方修正しました。

2024年12月期第2四半期(中間期) 決算概況

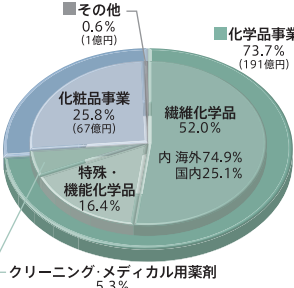


【P3-4における記載数値について】
※すべて連結の情報です ※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を2022年12月期第1 四半期連結会計期間の期首から適用しております ※金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております(円グラフは1億円未満を切り捨てて表示しております) ※表示は前年同期比で小数点第2位を四捨五入して表示しております(円グラフも売上高比率で小数点第2位を四捨五入して表示しており、合計は100.0%にならない場合があります)

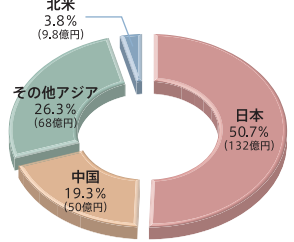
売上高・営業利益の推移



事業別売上高比率



地域別売上高比率



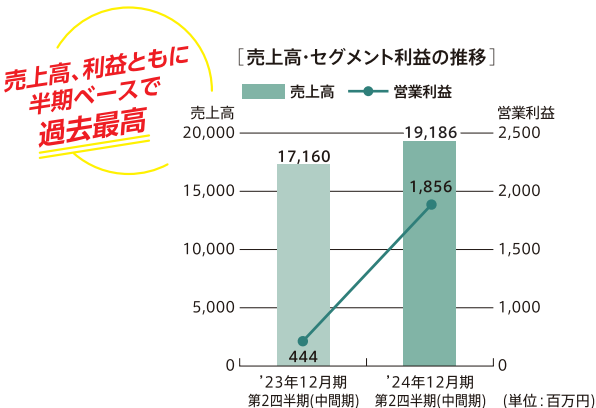
化学品事業

繊維化学品 ●繊維加工の一連の工程(精練・漂白・染色・捺染・仕上まで)を網羅する多様な薬剤	特殊・機能化学品 ●水系ウレタン樹脂等の機能ポリマー ●フッ素・シリコン等の工業用薬剤	クリーニング・メディカル用薬剤 ●業務用クリーニング・リネンサプライ業界向け薬剤 ●医療用器具・福祉分野用洗浄剤等	先端材料 ●精密制御ポリマー、機能性ナノ材料、半導体加工薬剤
--	---	---	-----------------------------------



- 【売上高】◆ 繊維化学品分野
- + 欧米アパレル在庫調整長期化による需要低迷から回復傾向
 - + インド・バングラビジネスの成長
 - + 中国が前年1Qのコロナでの低稼働から回復、大手加工場高稼働
- ◆ クリーニング薬剤分野(国内)
- + インバウンド好調によるリネンサプライ用薬剤販売増
- ◆ 半導体加工薬剤分野
- + 半導体市場不況の影響から2Qで回復

【利 益】+ 粗利益率向上、販管費・製造固定費抑制、円安の影響



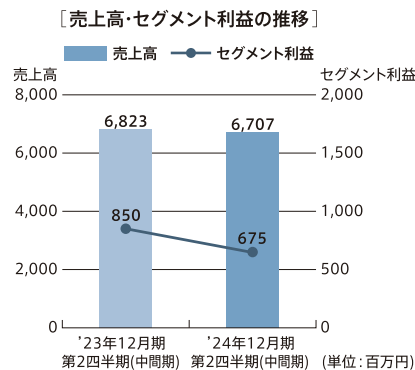
化粧品事業

美容室向け 頭髪用化粧品 DEMI Erol ●「デミ」「イーラル」ブランドで、シャンプー、トリートメント等のヘアケア剤等を提供	ODM・OEM ●頭髪用化粧品の相手先ブランド受託開発・生産
--	-----------------------------------



- 【売上高】= 山田製薬 大口ODM減少
= 日華化学デミコスメティクス
新商品含む注力商品増も既存品の減少大、美容室来店客数減
+ デミコリア 好調、山田製薬 その他ODM堅調

【利 益】= 売上減、販売関連費増、在庫変動の影響



中長期グループ成長シナリオ

～資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について～

現状認識

当社PBRは近年0.5倍程度の低水準で推移しておりますが、主たる要因は「ROEを安定的かつ十分に高めきれていないことにある」と認識しています。

ROE

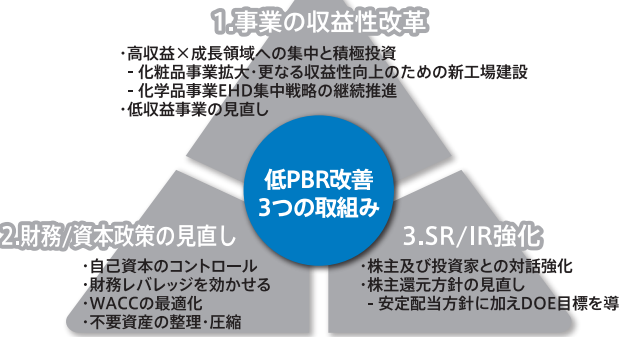
- ・当社の株主資本コスト(約8%)を安定的に上回るレベルにない
- ・事業の収益性、自己資本の在り方双方に課題ありと認識

PER

- ・近年は「割安」で推移。株主や投資家の皆様の期待値の現れと受け止める
- ・当社経営方針や事業内容への理解醸成のための取組みに課題ありと認識

低PBR改善に向けた取り組みの基本方針

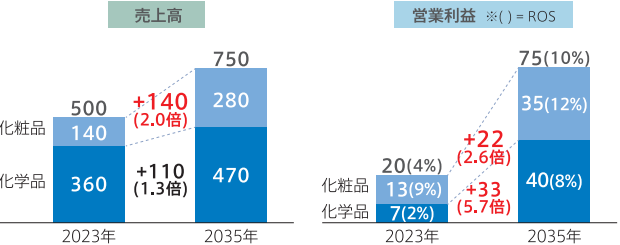
3つの大きな施策



1 事業の収益性改革

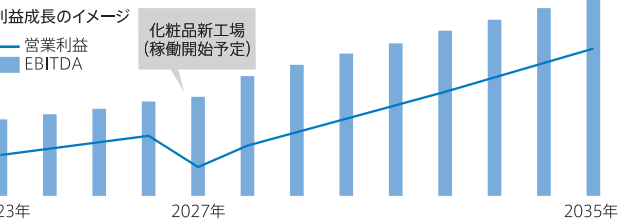
まずは、化粧品事業の売上・利益両面での更なる成長により全社の収益性向上の土台を固め、化学品も高付加価値領域集中により利益面で成長を図ります。

単位:億円



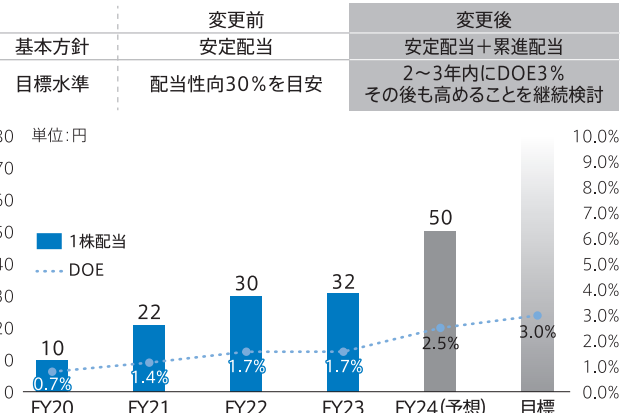
2 財務/資本政策の見直し

化粧品新工場稼働に伴い、27年以降一定期間は償却負担が大きくなりますが、当社の稼ぐ力は、化学品の収益改善と併せて安定的に高まってまいります。



3 株主還元方針 (SR/IR強化)

株主還元方針を以下の様に変更し、経営方針や事業内容の説明と併せて、株主・投資家の皆様からの理解獲得を目指します。



中長期的に目指す姿

売上・利益面での成長に加え、「ROE＝安定的に10%以上」を重点目標とし、株主還元策と併せて投資家の皆様の期待に応えてまいります。

	現状 (2023年度)	中長期的に目指す姿 (～2035年度)
売上高	501億円	750億円
営業利益率	4.1%	10%以上
ROE	5.8%	10%以上
ROIC	3.6%	8%以上
DOE	1.7%	3%以上
PBR	0.5倍	1.0倍以上

※1 当社の株主資本コストは約8%と推定 ※2 現状のWACCは約6%と推定、負債コストは今後上昇すると想定

業績/配当予想、施策

2024年12月期通期連結業績・配当予想

今上期において、特に化学品事業で収益改善諸施策の進展や中国等の業績回復等により利益が期初予想を上回った事、及び下期において化粧品事業も含めて堅調に推移する見通しであることから、前回発表予想を上方修正しました。

	期初予想	修正後	増加
売上高	535億円	535億円	—
営業利益	25億円	32億円	+7億円
経常利益	27億円	37億円	+10億円
親会社株主に帰属する当期純利益	18億円	22億円	+4億円
年間配当(予定)	34円	50円	+16円

TOPICS

化粧品新工場建設

「生産キャパ拡大」「生産性向上」を主目的に、2027年本格稼働を目指す

- 本格稼働: 2027年
- 投資規模: 約195億円
- 名称: 福井スマートファクトリー(仮称)
- 建設予定地: 福井県福井市
- ・3階建て、建築面積約10,000㎡、延べ床面積約23,000㎡
- ・製造キャパ大幅増(将来の拡張性を確保、設備は段階投資)
- ・生産性大幅改善(人時生産性1.5倍)
- ・24時間稼働、デジタル化・自動化・省人化
- ・在庫回転月数の低減
- ・働きやすい職場環境
- ・環境対応(太陽光発電、CO2排出削減、排水量削減等)

※記載内容は全て現時点での予定



デミコスメティクス主力ブランドより新ブランド「フローディアモア」新発売

- ・デミ主力「フローディア」の最上位ライン
- ・デミ初の酸性ストリート、超修復トリートメント
- ・全15アイテム予定



高付加価値EHD関連売上が業績を牽引、EHD売上比率は3ポイント上昇



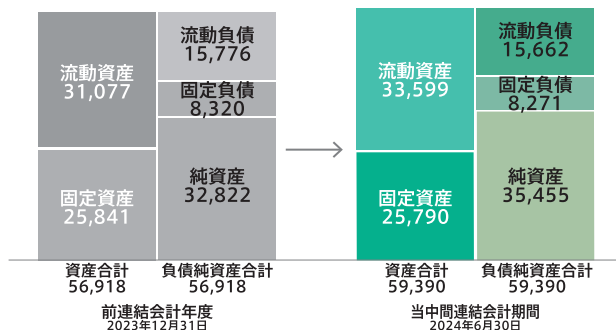
報酬制度改定による賃金および初任給の引き上げ

新卒初任給: 約10%アップ (大卒2万3千円アップ)
1人当たり平均給与: 7.6%アップ ※2023年比

CDP「気候変動レポート2023」にて上位から3番目の「B」スコアを獲得



資産・負債・純資産の状況 (単位:百万円)



大株主(上位10名)

	(単位:千株)		
株式会社江守プランニング	2,370	14.63%	
日華共栄会	1,667	10.29%	
長瀬産業株式会社	1,407	8.69%	
日華化学社員持株会社	681	4.21%	
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	517	3.19%	
公益財団法人江守アジア留學生育英会	500	3.09%	
INTERACTIVE BROKERS LLC	369	2.28%	
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	352	2.18%	
株式会社社福井銀行	344	2.12%	
宗教法人歓喜寺	268	1.66%	

(注)当社は、自己株式1,508千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
なお、自己株式1,508千株には、株式会社日本カストディ銀行が所有する取締役向け株式給付信託口及び執行役員向け株式給付信託口が所有する当社株式376千株を含んでおりません。

株式の状況(2024年6月30日現在)

発行可能株式総数	44,932,000株
発行済株式の総数	17,710,000株
株主数	4,360名

会社概要

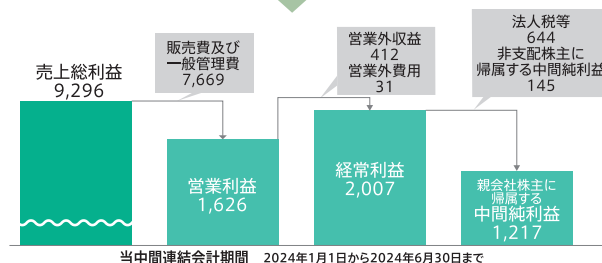
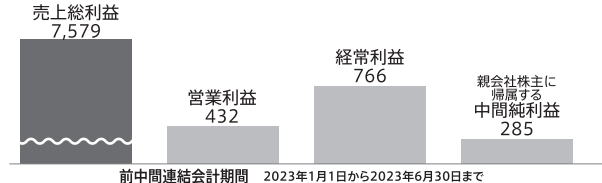
商号	日華化学株式会社
資本金	28億9,854万円
所在地	〒910-8670 福井市文京4丁目23-1
TEL	(0776)24-0213(代)
事業内容	1. 繊維工業用界面活性剤の製造、販売 2. 金属、製紙、塗料、染料、合成樹脂用界面活性剤の製造、販売 3. クリーニング、業務用洗剤の製造、販売 4. 化粧品・医薬品の製造、販売

役員

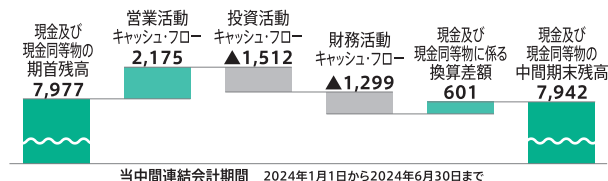
代表取締役社長	江守 康昌	取締役(社外)	山岡 美奈子
代表取締役副社長	龍村 和久	取締役(社外)	坂本 修一
取締役常務	児島 大司	取締役(社外)	朝倉 浩一
取締役	澤崎 祥也	監査役	宮本 和浩
取締役	李 晶日	監査役(非常勤)	川村 一司
取締役	稲継 崇宏	監査役(非常勤)	増田 仁視
取締役	藤森 大輔		
取締役(社外)	相澤 馨		

発行/日華化学株式会社 発行月/2024年9月 通算47号

中間連結損益の状況 (単位:百万円)



中間連結キャッシュ・フローの状況 (単位:百万円)



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年12月31日
	中間配当 毎年6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4-1 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区泉2丁目8-4 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	フリーダイヤル 0120-782-031 ※取次事務は三井住友信託銀行の本店および全国各支店で 行っております。
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場・名古屋証券取引所プレミアム市場
単元株主数	100株
証券コード	4463

【住所変更・単元未満株式の買取・買増等のお申出先について】株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行にお申出ください。
【未払配当金の支払について】三井住友信託銀行にお申出ください。

CP(IR情報フォーマット)▶



<IR活動アンケート>

今後のIR活動の参考にさせていただきます。
皆様のご要望等をご記入いただけます。
様、よろしくお願い申し上げます。▶



日華化学株式会社
NICCA CHEMICAL CO., LTD.

さらに詳しい情報・バックナンバーは
www.nicca.co.jp